

銀座・有楽町地区デパートの言語サービス

ホームページの調査

■ ホームページから見た銀座のデパート (国文学科2年 金子はるな)

PDF 調査マニュアルのチェックシート (PDF)

調査場所・調査時間

各店舗のHP、和光・三越・松坂屋・松屋・有楽町ルミネ・阪急の6店舗を対象とする。

調査目的

デパート掲載のHPの多言語状況を、チェック用紙を用いて調査する。

調査方法

デパートのHPを対象に、他の言語の使用状況を調査する。チェックシートは店舗ごとに使用する。HPが更新されてしまったときに対応できるよう、調査日時とそのURLをメモしておく。PrScnを使って画面メモを取っておく。その時クリックしたボタンをチェックしておき、どのように進めば調査したページにたどり着くのか視点的にわかるようにする。

調査観点

1. 言語変換できるかどうか。
【言語変換できた場合】
 - ・言語変換できる言語の数
 - ・何語に変換できるか* トップページで言語変換できない場合は海外系の項目を開き、そのページでも変換できなければ不可とする。
2. トップページは言語は何言語か。
3. 国内店舗と海外店舗の違いはあるのか。
【海外店舗がある場合】
 - ・トップページの言語は何語か
 - ・言語変換できるか
 - ・何語に変換できるか* トップページは基本的に銀座、あるいは有楽町店のものとする。

チェック表

該当する箇所に丸を付け、複数当てはまる場合はすべてに丸を付ける。該当する選択肢がない場合はその他の欄に記入する。

【定義】

見出し = 店舗名などのこと
広告 = イベントや会員募集等の項目
ブランド名 = 商品の名前等
クリックボタン = アンダーラインが引いてあるもの。一目でそれとわかるもの。広告かどうか迷うものは省く。



銀座の言語景観調査

日本大学文理学部国文学科
基礎演習2

はじめに

恒常的掲示物からみた銀座

臨時的掲示物からみた銀座

銀座・有楽町地区
デパートの言語サービス

>> パンフレットの調査

>> 店内放送の調査

>> ホームページの調査

新聞記事からみた銀座

ブログ記事からみた銀座

あとがき

